

# 教育コミュニティづくり通信

平成 30 年 11 月 26 日

平成 30 年 11 月 26 日、大阪府立富田林中学校・高等学校で行われた「熟議」に参加しました。「私たちが地域にできること」をテーマに生徒、学校、地域と一緒に話し合いました。

## 生徒・学校・地域が一堂に集まって「熟議」



### 「熟議」とは…

多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことをいいます。活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができるというもの。

会場には、学校の先生、地域学校協働本部の方々やコーディネーター、学校運営協議会委員、同窓会、PTA、行政、学校の教育活動に関わる企業・団体等、多岐にわたる分野の方々が集まりました。

これだけ異なる立場の方々と同じテーブルで話し合うことはなかなかなく、貴重な機会となりました。

更に、今回の大きな特徴として、生徒も熟議に参加しました。

たくさんの大人の中で、堂々と自分の意見を述べる生徒の姿はとても頼もしく、また、大人だけの議論では出てこないような、生徒ならではの発想や視点がたいへん新鮮に感じました。

富田林中学校・高等学校では、地球的な視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する『グローバル (Global & Local) リーダー』の育成を教育目標に掲げ、グローバルな視野とコミュニケーション力、論理的思考力と課題発見・解決能力、社会貢献意識と地域愛の3つの資質・能力を育成するため、社会と積極的につながって教育活動を行っています。

## 「私たちが地域にできること」

熟議のテーマは、「私たちが地域にできること」

(富田林中学校・高等学校を起点として)

富田林中学校・高等学校が設置されている南河内地域では、今後、大幅な人口減少が予測され、大きな課題となっています。将来、富田林、南河内地域が持続可能となる活気ある街に発展するために、どのようなことができるか。

「私たちの富田林中学校・高等学校がある南河内が元気になるために、自分ができることは何か」について話し合いました。

はじめに、これからも続いてほしいこと、なくなしてほしいことについて、意見を出し合いました。次に自分たちはどんなことができるか、更に深めていきました。最後に各グループの発表を行い、全員で共有しました。

守り広げたいものとして、寺内町や石川などが挙げられ、あらためて地域のよさに気づくことができました。また、そのための方策についても実に示唆に富んだアイデアの発表がありました。

「今回は初めての熟議。まずは第一歩を踏み出すことが今日の目的。さらに深めて、行動につなげていきたい」と担当の先生はおっしゃっていました。今後の活動が楽しみです。

